



平成30年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）事業 成果発表会および第2回SPH運営指導委員会を開催しました。

目的 平成29年度より文部科学省「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」事業の指定を受け、HSJ（Hop Step Jump）カリキュラムによる自立型地域リーダーの育成を目指している本校の事業について、2年目の研究成果発表会を開催し、SPH関係者、SPH運営指導委員会から指導助言及び技術指導をいただく。

【成果発表会】

期 日 平成31年2月7日（木）13:35～15:10

会 場 本校2階 視聴覚教室

概 要 (1)平成30年度に取り組んだ「課題研究」の生徒による実践発表

【発表テーマ（発表者）】

- ①「炭素循環農法に関する研究」（生物工学科2年 生命情報コース3名）
 - ②「空撮と最新測量技術の習得を目指して ～ドローンを活用した取り組み～」（緑地工学科3年 環境土木コース4名）
 - ③「花で街を彩ろう ～草花がもたらす地域活性効果～」（生産技術科2年 草花コース4名）
- (2)SPH事業のFS（中核的生徒）による国際理解教育プレゼンテーション発表
- ④「農林高校版 SDGs スクールを目指して」（FS3名）

発表会には、外部からSPH運営指導委員7名、管理運営機関2名、県外SPH指定校4名、県内SPH指定校2名（生徒7名）、県内高校9名、県内中学校1名の計25名の参加がありました。生徒から平成30年度の実践成果を中心に、緊張しながらも堂々と発表が行われました。



成果発表会の様子（左から発表テーマ順）

【第2回運営指導委員会】

期 日 平成31年2月7日（木）15:25～16:00

会 場 本校2階 会議室

- 指導助言**
- 女子生徒が活発に発表する姿が見られた、大学に入学したらパワーになると確信している。
 - どの発表も反省と次年度に何をやるのか、前向きな目標の立て方も良かった。
 - 女性にも就農して欲しい、実社会で頑張れる人材を育てて欲しい。
 - 加茂市の駅前商店街におけるプランタの設置は大変良かった。生徒の若い発想力で加茂市を盛り上げて欲しい。加茂市は地域密着性が強い地域である。



協議の様子